

☆中国

技術開発

紹弾化繊、新設備を稼働へ

大手ポリエステルメーカーの紹弾化繊は、老朽化した POY 設備を淘汰、新たに、3,800 万元を投じて、環境にやさしい原着ポリエステル生産ラインを導入、7 月までに本格稼働する予定。これが実現すると同社の生産額は 1.5 億元増加すると見込まれる。紹弾化繊の従業員は 4 年前に 500 人であったが、設備の効率化によって現在は 300 人以下に減少しているが、4 年前以上の経済収益をあげているという。

紹弾化繊は、主に靴下向けに糸を供給しているが、市場のニーズの変化や供給過剰に対して、製品のアップグレードを加速させている。

同社によると、通常のポリエステル POY 価格は 1 トン当たり 1.1 万元前後であるが、同社の原着ポリエステル POY の価格は 1 トン当たり 1.5 万元前後である。

技術開発

山東豪盛、モダル繊維に注力

国内竹繊維のトップメーカーである山東豪盛集団はこのほど、竹から生産されたモダル繊維による「竹代爾」と名付けられた高級家庭用繊維製品の開発に成功したことを明らかにした。

中国紡織工業連合会によると、同社のこの開発によって、モダル繊維の生産分野における国内の空白を埋めたと評価している。これまで、世界的には、モダル繊維の生産技術は、オーストリアの Lenzing 社などの少数の企業に握られていた。

中国の竹繊維製品の開発は 2000 年頃から始まり、2002 年には産業化の段階に入った。しかし、当時は用途も寝具用品、タオル、靴下などに限られ、量的な発展はなかった。豪盛集団は唐山三友化繊とともにモダル繊維の生産技術の研究開発を進めてきたが、2010 年に試験生産に成功した。その後 2 年を経て、多くの技術問題とコストのボトルネックを解決し、量産生産を実現した。

☆タイ

設立

特殊ポリエステル製不織布・糸の合併設立

タイに本拠地を構える Indorama Ventures はこのたび、特殊ポリエステル製不織布・糸を製造する合併会社を海外の大手不織布メーカーと折半出資で設立することが明らかとなった。新工場はタイ東部ラヨン県の Indorama 既存工場敷地内に建設され、生産能力は年間 1 万 4,500 トンとなる見通し。操業開始は 2015 年 2Q が予定されている。

Indorama Ventures の 2012 年の売上は 68 億米ドル（2,110 億バーツ）、従業員数は 9,000 人。タイを中心とするアジア、欧州、北米、アフリカなど世界 15 カ国に 42 の生産拠点を有する世界的 PET メーカーである。

以上